

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表日:2023年 2月 10日

事業所名:やるきやん土浦校

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		訓練室を2室設置し、2クラスに分けて実施しています。1室でも定員に対し十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2		法律上の配置人数は確保していますが、より専門的なサービスができるよう、専門職の採用をかけています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	6		2階教室へ身体障害のある児童は移動しづらい。階段の手すりは設置済み。車いす用のトイレなし。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	2	ミーティングや研修を定期的実施しながら、業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		ご意見に対して速やかに改善できるようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		ホームページに公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	2		関係機関からのご意見等を伺いながら、業務改善に努めます。必要があれば法人で設置されている第三者委員に評価を依頼します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		外部研修の活用、職員ミーティングでの勉強会等を実施しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者様からの情報やニーズ、関係機関と連携した計画作成に努めています。定期的に児童からも聞き取りを実施して、個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		運営アプリを活用した聞き取りの他、病院での検査結果、学校関係等の情報もいただいています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		活動の担当者や内容まで、職員同士で話し合いをして決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		常に新しい活動を取り入れ、提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		季節に合わせた課題や、イベント、外出等を実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			担当の職員で意見を出し合いながら、バランスも考慮してカリキュラムの計画、実施をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			ミーティングの時間を定め、当日の役割や支援内容の確認を実施しています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3	3	支援終了後は送迎等がある為、翌日の午前中にミーティングを実施し、情報の共有をしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1		運営アプリを活用し、記録漏れ等がないようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			個別支援計画書に基づいて、6か月に1度モニタリングを実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	1		1ヶ月単位で、様々な活動を組み合わせたカリキュラム表を作成して実施しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		状況を把握している担当職員が対応しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1		予定表をいただいています。学校によっては、連絡アプリを共有させていただいたり、下校時刻を連絡くださっています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6		対象者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	1	必要時には情報共有と相互理解に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			利用者様に確認をとってから、情報共有をしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5		必要時には相談させていただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	3	状況をみながら、交流の機会を設けます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	5	市役所に確認をしましたが、参加できる部会がないとのことのお返事でした。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時には、様子を伝えるようにしています。また、アプリを活用し、連絡がスムーズにできるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	1	定期的に講演会を実施。送迎時等に保護者からの相談を受け、必要時には面談を実施しています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時に重要事項説明書活用して説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		送迎時など、ご自宅での様子を確認させていただきながら、相談に応じています。

責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2		2022年9月10日保護者会実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		苦情があった時は、苦情受付シートを活用し、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			月に1回やるきゃん新聞を発行し、当月のイベントと前月の活動の様子を発信しています。翌月のカリキュラム表をWEBと文書で発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			書庫の施錠の徹底をし、関係機関への情報の提供は、同意を得てから行っています。連絡アプリは個別にパスワードを設定していただき、他者からは見られないようにしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		連絡アプリの使用を希望されない方には、連絡帳を使用しています。個々の状況に配慮し、電話・メール・お手紙など最適な方法で実施しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	5	挨拶や近隣の清掃等で交流をさせていただいています。状況を見ながら、イベントへの招待等も検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			各マニュアルの設置、研修の実施をしています。緊急時対応、感染症対応については、契約時に重要事項説明の際に説明させていただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		避難訓練を年1回実施する他、非常時、災害時の勉強会をカリキュラムに取り入れて実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			職員ミーティングの際に、研修会を実施。マニュアル、掲示物の設置。録画付き監視カメラを訓練指導室に設置。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	2	1	本人や周囲の生命や身体を保護するため緊急を要する場合、切迫性・緊急性・一時性であることを条件に行うことを確認。対象児童がいる場合は計画書にも記載いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		必要時には保護者や医療機関と連携させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		ヒヤリハット報告書の記載をして、ミーティング時に確認をしています。